

2024年3月期第1四半期 業績のポイント 個人投資家向け説明会資料 抜粋版

2023年8月29日

株式会社Kids Smile Holdings

証券コード:7084



2024年3月期 第1四半期 業績のポイント

当資料は、2023年8月14日発表の2024年3月期第1四半期の業績につきまして、ポイントをしばってご説明する資料です。
個人投資家向け会社説明会でご説明する資料の抜粋版となります。

1. 売上高 既存園の児童数、売上が伸長し、**順調に増加**
2. EBITDA 事業が生み出す利益は、**順調に増加**
3. 営業利益 減価償却費の反映でマイナスだが、前期1Qより**大幅に改善**
4. 営業外損益 認可保育所の開設数減により減少 — **想定通り**
5. 経常利益・純利益 営業外損益の減少を反映してマイナス — **想定通り**
6. 自己資本比率 有利子負債の減少等により、**自己資本比率は更に上昇**

営業外損益の減少、それに伴う経常利益・純利益のマイナスは、
当社の今期計画に基づくもので想定通り



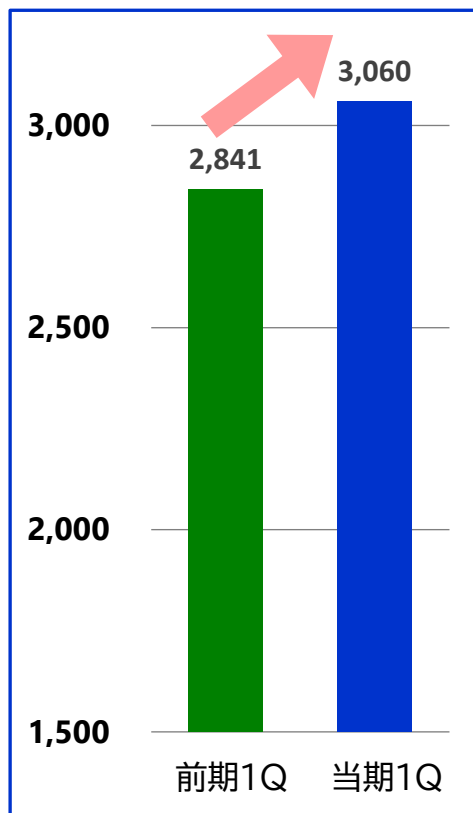
第1四半期は通期業績予想に対して、順調に推移

2024年3月期 第1四半期 業績のポイント

KIDS SMILE HOLDINGS

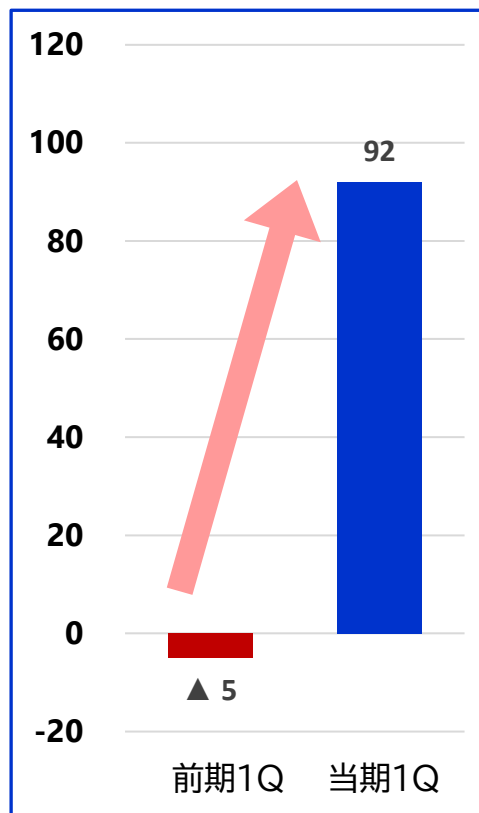
単位:百万円

1. 売上高



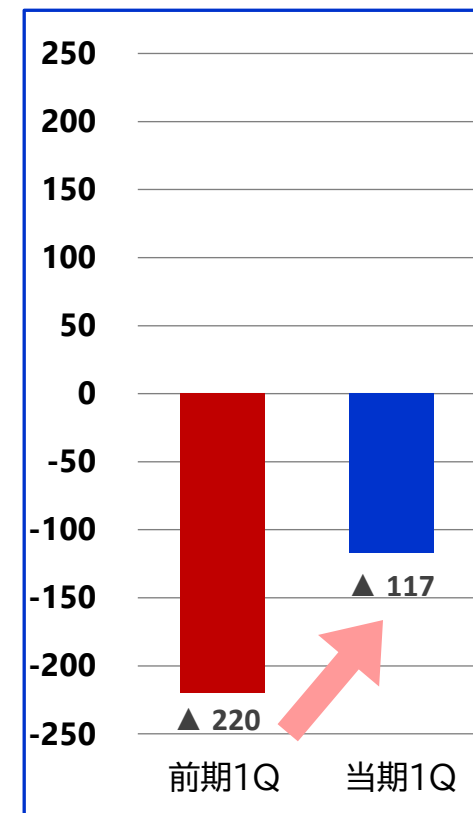
既存園の児童数、売上が伸長し、**順調に増加**

2. EBITDA



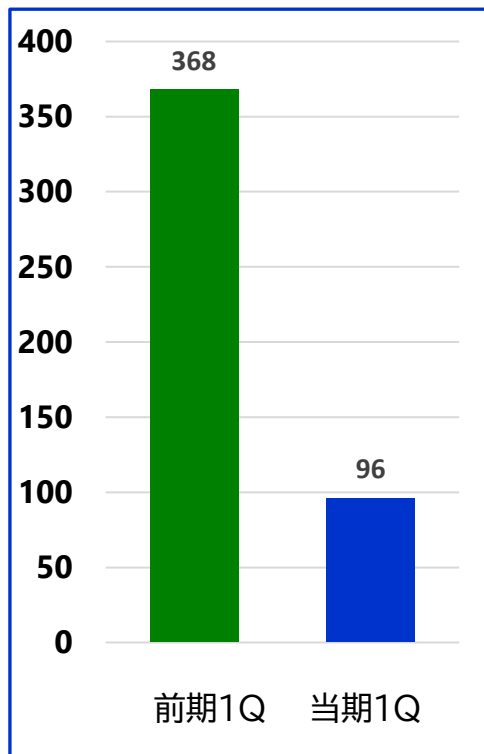
事業が生み出す利益は、**順調に増加**

3. 営業利益



減価償却費の反映でマイナス。前期より**大幅に改善**

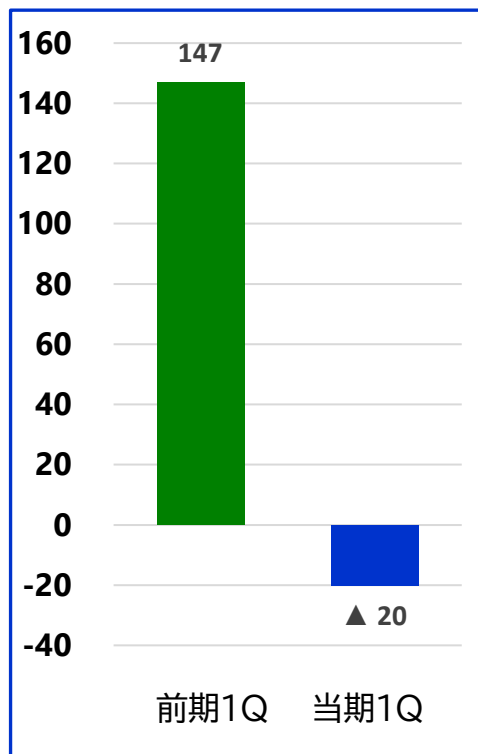
4. 営業外損益



認可保育所の開設数減少
→開園時に計上される開設補助金減少
(第1四半期に影響大)

営業外損益の減少は計画通り

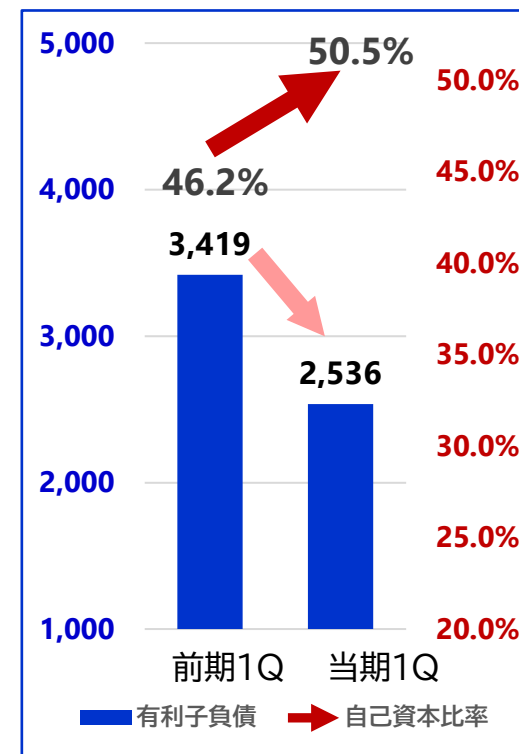
5. 経常利益



営業外損益の減少を反映してマイナス
→計画通り

6. 自己資本比率

単位:百万円



有利子負債※の減少等により自己資本比率はさらに上昇。安定した財務基盤で今後の成長投資に備える

※ 短期借入金、1年内償還予定の社債、1年内返済予定の長期借入金、社債、長期借入金の合算

1. 認可保育所事業

在籍児童数 3,933名 前年同四半期+4.2% (+158名)
待機児童減少、新規開設の減少にも関わらず 順調に増加

2. プレミアム教育事業

売上高 前期1Q比 18.2%の増加

・キッズガーデン南青山

保育所・学童・スイミングスクールの複合型大型フラッグシップ施設は
会員数・売上が順調に増加

・グローバルスクール錦糸町

グローバルスクール1号園の錦糸町園が4月オープン、順調にスタート
して利用者から高い評価。全国への展開に向けて、サービスモデルの
確立に取り組み中。

3. 麻布台ヒルズに開設決定

森ビルが緑豊かなランドマークとして開発中の大型プロジェクト「麻布台ヒルズ」にキッズガーデン
開設が決定。キッズガーデン南青山のプレミアム性にグローバルスクールの国際性をプラス。新た
なフラッグシップとして計画中。



事業計画に沿って順調に推移

2024年3月期 第1四半期 業績総括

KIDS SMILE HOLDINGS

--	23年3月期	24年3月期	対前年同 四半期増減額
	1Q実績	1Q実績	
売上高	2,841	3,060	+218
EBITDA	-5	92	+98
営業利益	-220	-117	+103
営業外損益	368	96	-272
経常利益	147	-20	-168
四半期純利益	-5	-83	-77

(単位:百万円)

認可保育所 新規開設数	2	1
プレミアム教育施設 新規開設数	2	1

※認可保育所の開設補助金は開園のタイミングで計上されるため、第1四半期は、営業外損益に影響大。
営業外損益の減少、それに伴う経常利益・純利益のマイナスは、今期計画に基づくもので想定通り。

2024年3月期 通期業績の進捗状況

2024年3月期は、児童数・売上げの増加により既存施設の利益が増加して参ります。

- ① 営業利益は順調に伸び、黒字化を予想しております。
- ② 第1四半期の業績は通期予想に向けて順調に推移しております。
- ③ 開発の重点を認可保育所→プレミアム教育事業に移行していくことによる、一時的な開設補助金減少、それに伴う営業外収益、経常利益の減少は当社計画通りです。

(単位:百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 業績予想	2024年3月期 第1四半期進捗	進捗状況
売上高	11,860	12,220	3,060 (進捗率 25.0%)	既存園の在籍児童数、売上の順調な増加
営業利益	-31	70	-117	減価償却費の影響等により1Q時点ではマイナスだが、 <u>通期では予想通りの黒字化により、前期より大幅改善</u> の見込み
経常利益	378	122	-20	1Q時点では開設補助金減少の影響でマイナスだが、 <u>通期では予想通りの数字にて着地</u> を見込み
親会社株主に 帰属する当期 純利益	188	80	-83	経常利益に連動。 <u>通期では予想通りの数字にて着地</u> を見込み

- ◆ 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点における情報に基づき判断したものであり、市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。
- ◆ 実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご承知おきください。
- ◆ 事業計画及び成長可能性に関する事項の進捗を含む最新の開示について、次回は、2024年6月を予定しています。